

東京都地理教育研究会

団体の概要

東京都地理教育研究会は、都立高校で地理を担当する教員の団体として、年3回の授業研究（うち1回は中学校の授業を見学）と年2回の巡検、GIS研修会等を中心に、授業力の向上を目指して活動をしている。

また全国地理教育研究会とも連携し、全国大会の企画・運営等の事務部門も担当している。今年度は必修科目実施直前の重要な時期にあたり、オンラインでの全国大会を開催した。

研究の内容

授業研究を中心に授業力向上に向けた研究を行っている。今年度も感染症対策で巡検は中止とした。「地理総合」実施に向けて、教材や作成技術の共有化を図るため、GIS研修会を中心にオンラインでも開催可能な内容で模索しながら実践した。昨年度より始めた定期考査問題の研究協議会を継続した。9月には専門性向上研修「社会・地理歴史Ⅱ」を実施した。

研究テーマ

地理総合に向けて

～生徒が主体的に学ぶ教材の作成～

研究のねらい

令和4年度から実施される新科目の先行研究を踏まえ、生徒の主体的な思考を促し、新科目の骨子である「GIS（地理情報システム）」、国際理解、防災に関して、資料提示の方法や教材作成力の向上をはかり、良質な教材の共有化をめざす。

研究の成果と課題

新科目の骨子であるGISの活用について、教材としての活用方法を研究し、地理を専攻としない教員が授業を行う際の支援策となるべく、「都地研GISミニマムスキル」の作成を進めた。会員からの情報や教材提供により充実したコンテンツが集まったが、導入場面の選び方や授業での扱い方などが複雑になった感がある。見てすぐ使えるように再整理を進めたい。

今後の活動予定

新学習指導要領実施で新たに導入される観点別評価について、事前の情報交換や共通理解を促進するための研究会を1月中旬に開催予定。

代表者・連絡先

代表者：

都立戸山高等学校 統括校長 櫛野治和

連絡先：

都立青山高等学校 主任教諭 白川和彦
03(3404)7801

Kazuhiko_Shirakawa@education.metro.tokyo.jp